



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2020年4月14日 No.200

「電気部門の新たな新幹線体制の確立」の実施を延期！

2018年11月22日に経営側より提案を受けた「電気部門の変革2022」の「電気部門の新たな新幹線体制の確立」については「2020年4月16日に実施する」としていましたが、2020年5月13日に延期することが決まりました。

結果的に東日本ユニオンの要求通りに実施が延期！

東日本ユニオンは、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、現場第一線で奮闘する組合員や社員から寄せられた「社会情勢を無視して施策を進めて良いのか」などの声のもと、3月3日に提出した申第23号「新型コロナウイルスに関する第二次申し入れ」の第3項で「実施日を延期すること」を要求していました。

経営側は3月30日の団体交渉で「変更する考えはない」と回答していましたが、結果的に要求通り延期されます。この決定は実施日の2日前です。本施策に関係する機関と社員のことを考慮し、スピード感のあるJR東日本としての判断が求められます。

「電気部門の変革2022」・「電気部門の新たな新幹線体制の確立」とは

▼組織等の見直し

新幹線・在来線業務を分離し、新幹線専門の技術センター、メンテナンスセンターを新たに設置する。

※新幹線業務を集約したエリアごとの新幹線現業機関（首都圏新幹線電力技術センター、東北新幹線電力技術センター、上信越新幹線電力技術センター、首都圏新幹線信号通信技術センター、東北新幹線信号通信技術センター、上信越新幹線信号通信技術センター）を新設し、新幹線統括本部の所属となる。

▼系統横断した技術者育成・配置

新幹線を専門的にメンテナンスし、異常時に即応可能な体制を構築するため、基幹技術である電力（電車線、配電、変電）または信号通信（信号、通信）を総合的に対応できる技術者を育成・配置する。

▼検査体系の見直し

一部検査業務においては、外注検査の直轄化を実施する。



東日本ユニオンは連絡体制をより一層強化して、実施日延期と施策自体の問題解決にむけて取り組みます。

問題は職場（現場）で発生します！

東日本ユニオンに結集し、解決にむけて一緒に取り組もう！